

# 実用性能認定制度

錠を正しく選定することにより製品事故を防止し、ユーザーの安全・安心を確保するための制度です。

(2012年12月スタート)

## 錠の実用性能認定制度が制定されました。

本制度は錠を正しく使用するため用途、場所、環境に応じた錠選定時の判断の目安を示し、安全安心を確保することを目的としています。



錠の実用性能認定  
ロゴマーク

### ■錠の実用性能認定項目とピクトについて

- ・認定品には6項目の試験結果を表示しています。
- ・建築物の開口部の戸に用いる錠の実用性能項目は以下の数字6桁で表示しています。
- ・錠の種類によっては必要のない性能があります。必要のない性能は0で表示しています。
- ・各項目とも数字が大きくなると性能グレードは高くなります。但し、デッドボルトは出寸法が大きくなります。

カギにも選び方があるんだね！



各項目は日本工業規格（JIS）の試験方法に基づき試験をした結果及びその錠前が持つ実力値を表示しています。

認定品の評価結果は日本ロック工業会ホームページにて性能が分かるよう、順次掲載致します。

試験は日本ロック工業会が認定した試験所にて行なわれています。

ピクト表示

#### 使用頻度による性能（グレード／1～4）

扉の開閉操作や施錠操作の耐久性能です。

グレード1と2は住宅。グレード3と4はオフィスビルなど。住宅とオフィスビル等のグレード違いは、その中で比較的の使用頻度の少ないところと多いところ。



#### 外力に対する性能（グレード／1～4）

機械的荷重による錠の強さを表している性能です。

グレード1は室内、グレード2は使用する扉に対して内部もしくは外部にもう一枚施錠できる扉がある場合。グレード3は外部扉、グレード4は無入になる外部扉。



#### 使用扉の質量に対する性能（グレード／1～4）

使用扉の重さによって、錠の操作強度等を表している性能です。

グレード1は室内の軽量木扉。グレード2は一般アルミ扉・木製扉。グレード3はスチール扉。グレード4は重量スチール扉。



#### かぎ違い（グレード／1～5）

シリンダーのかぎ違い数を表しています。

グレード1は住宅室内。グレード2は住宅。グレード3はオフィスビル等の中規模物件。グレード4はオフィスビル等の大規模物件。グレード5はオフィスビル等の超大規模物件。



#### デッドボルトの出寸法（グレード／1～4）

デッドボルト（カンヌキ）の施錠時の突出寸法を表しています。

グレード1は1.1mm、グレード2は1.4mm、グレード3は1.7mm、グレード4は2.0mm以上を示す。



#### 耐じん性能（グレード／1～2）

シリンダーの砂やホコリに対する耐用性を表している性能です。

グレード1は室内用、グレード2は外部用です。



例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥  
2 3 2 2 3 2